

高1・高2生の皆さんへ

今年のセンター試験は解いてみましたか？

高校傍用問題集のレベルが定着している方なら7割くらいは取れるのではないかと思います。

しかし、私は毎年センターの翌日だけは胃が痛い。「二次レベルの学習ができている子には平易な試験」と言っているのは、皆さんのように平常心で望んでこそその話です。「この試験で1年間の努力の成果が問われる」「60分で満点近くは取りたい」という気分で解くと普段の実力なんか出ません。

だからセンターは怖いんです...

とはいえ、センター数学対策なんかは今の時期に始めるべきではありません。今はしっかりと解法のマスターと二次の記述力をつけるべきです。

センターに限らず「戦略」なんてものは、確固たる実力があってこそそのものです。「大はベクトルがよく出るから...」なんて瑣末な事は一通りの学習が終わってから考えるべきことであり、受験勉強のスタート時に考えることではありません。(出ないかもしれないじゃん...)ただし、志望校の過去問レベルの最終到達点(「1対1まで大丈夫」とか「ハイ理まが必要」とか)はしっかりと確認して学習計画を立てましょう。

11月後半(12月頭)から1月のセンター試験までは、センター対策にかかりきりになります。当然それまでに二次対策はある程度の目鼻をつけておくべきです。『リクエイオン』のコンテンツ内に詳しく書いていますが、理系ならば数学IIIの教科書レベルが終わるのが11月なんていう一般的な公立高校の進度では当然無理ですね。物理・化学も同様です。

難関大と呼ばれる理系大学を志望する方へのカリキュラムの一例を挙げておきます。

- 社会  
一周目を7月までに終わらせてください。
- 国語  
古文・漢文は早いうち(夏まで)に得点源にしておいてください。現代文の対策を講じない受験生もたまにいますが、主観に頼った解法では足を救われる可能性があることを指摘しておきます。
- 英語  
理系科目同様、まずは二次力です。センターの形式に慣れるのは10月くらいからで十分でしょう。

以上私が門外漢の科目について簡単に書きましたが、特に社会・国語について理系受験生は軽視しすぎるきらいがあります。難関大においてこれらの科目のセンター試験の配点が高い大学も多い(特に関西圏)のはご存知ですね？

- 数学

まずは二次力養成です。センター試験対策は先にも述べたように11月～12月で十分間に合います。

いくつかのステップを経た上で、最終的に自分の志望校に見合ったレベルの本の1周目をそれまでに終わらせることを目標にしてください。特に数IIIの進度には注意しましょう。

- 理科

これも数学と同じです。しかし、センター物理I・化学Iの「常識問題」のような問題の対策は講じておくべきです。

理系科目に関しては直前のセンター対策中も、分量は減っても演習を続けておくべきなのは言うまでもありません。特に物理I、化学Iと二次試験レベルのギャップと、IとIIの分量の差は厳しいものがあります。